



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

令和2年度 入職式 新任医師・新入職員紹介

散り桜とタンポポ

CONTENTS ● もくじ

TOPICS 令和2年度 入職式	P.01
TOPICS 新任医師・新入職員紹介	P.02
河合先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
病院★ニュース	P.05
病院からのお知らせ掲示板	P.06
まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



金沢医科大学氷見市民病院 令和2年度 新入職員入職式

令和2年4月1日(水)午後2時から新入職員入職式が氷見市民病院6階多目的ホールで行われた。今年度の入職者は医師3名、看護師11名、理学療法士1名、作業療法士2名、臨床検査技師1名、臨床工学技士1名、事務員1名、技能員1名、看護補助員1名の計22名であった。

入職式は松本忠美最高経営責任者ならびに梅博久病院長をはじめ多数の病院幹部職員列席のもと行われた。新入職員を代表し、臨床検査技師の幸田紗季さんに松本最高経営責任者から採用辞令が交付され、式辞が述べられた。続いて梅病院長から訓示がなされ、最後に初期臨床研修医の秦義之さんが「金沢医科大学氷見市民病院の一員として、自己研鑽に努め職務に精励することを誓います。」と宣誓を行い、入職式を閉会した。引き続き、4月3日まで新入職員オリエンテーションが行われた。



●新入職員オリエンテーション

4月1日(水)

- ① 金沢医科大学氷見市民病院の概要及び病院職員としての心構えについて
- ② 病院設備と防災・防犯設備について
- ③ 各部門紹介
- ④ 職業人としての健康管理について
- ⑤ 個人情報保護について
- ⑥ 出退勤管理システムについて
- ⑦ 地域医療連携について

4月2日(木)

- ① 各部門紹介
- ② 看護部りんごステーションの紹介
- ③ 職場における防火と防災について(氷見市消防本部)

4月3日(金)

- ① 感染防止の基礎知識について
- ② 医療安全の基礎知識について
- ③ BLS研修





皮膚科

助教
いけむら けいし
池村 溪伺



総合診療科

医員
いずみだ としひで
泉田 俊秀



臨床研修医
はた よしゆき
秦 義之



臨床研修医
まさき みはる
正木 美遥

4月から、新しく5名の医師が着任し、常勤医師43名体制となりました。
市民の皆様には、より良い医療を提供できるよう努めてまいりますので、よろしく
お願いします。

令和2年度

新任医師・ 新入職員紹介

はじめまして！新入職員をご紹介します。

看護師 11名、医療従事者 5名(臨床検査技師 1名、臨床工学技士 1名、理学療法士 1名、作業療法士 2名)が新しく仲間入りしました。どうぞよろしくお願いいたします。

医療従事者 5名



看護師 11名



河合先生の 診察室から

健康管理センターセンター長
准教授



河合 泰宏

KAWAI YASUHIRO

令

和元年9月1日付で健康管理センターに着任しました。住民健診、企業健診とともに人間ドックを充実させ、職員一丸となり予防医療を実践中です。今後とも宜しくお願い致します。

さて、原稿依頼をいただいた時点で、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が問題となっており、手指衛生は勿論のこと、診断、予防接種(ワクチン)、治療法などの開発、確立・対応が進められています。予防接種といえば、天然痘の根絶宣言(1980年)をはじめ、昨年、小児麻痺の原因であるポリオウイルスの3つある血清型のうち、野生型3型の根絶が宣言されました。2型、3型が根絶され、残りはあと一つ、1型のみとなりました。このようにワクチンの開発・普及などで感染症の予防については進歩してきました。では、幅広い病気の予防(健康を保つ)についてはどうなっているのでしょうか。これまでも、〇〇健康法など様々な意見がマスメ



ディアを賑わせてきましたが、どれが正しいのでしょうか？長生きした人の意見が参考になります。高齢者の意見に耳を傾けてみましょう。

江戸時代の養生訓を紹介しますので、これはイネ！と思われる項目については、皆様の健康法の参考として取り入れてみてはいかがでしょうかでしょうか。この健康法により貝原益軒は、江戸時代に85歳まで生きられました。

① 人生の目標
父母・天地に考を尽くし、人倫の道を実践し、義に従い、幸福になり、悦び楽しむことである。

② 飲食
禍は口より出で、病は口より入る。よって、言葉を慎み、口数を少なくする。朝飯はしっかりと、夕食は軽いほうがよい。腹八分目に病なし。

③ 飲酒
酒は、天から与えられた美禄である。しかし、多飲は酒害を生じる。花は半開、酒は微酔に。

④ 睡眠
夜ふかしは、十二時まで。朝は、五時に起きる。東枕、側臥の姿勢で寝るのが良く、仰向けはいけない。

⑤ 深呼吸法
身体を上向きに臥し、足を伸ばし、目を閉じ、手を握り、両足を五寸(約15cm)に開き両肘も体から五寸離し、鼻から清気を吸い込み、口から静かに濁気を吐く、一昼夜に二度これを行う。

⑥ 煙草の害
煙草は、病気や火災の原因になる。習慣になると、やめられなくなる。最初から近づけないのがよい。

⑦ 良医を選ぶ
良医とは、ひとのために尽くす、ひとを救うことを第一とし、医学に精通し、医術に心をくばり、多くの病気をみて、その変化を心得ている医者である。
：以下略。(大学を退官後も元気に診療を続けている元上司の寄稿文を参考に抜粋しました)
養生訓のすべてを実行することは難しいかもしれませんが、健康で長生きを目指す

指しましょう。健康管理センターでも、食事、飲酒、喫煙などについてお話しする機会がよくあります。
世界的にも大変な状況ですが、頑張れ日本、頑張れ氷見市民病院ということで、私も皆様の健康へのかけはしとなれますよう、良医として選んでいただければ健康に気をつけて頑張りたいです。

河合 泰宏 ★ 略歴

【略歴】

- ◎2001(平成13)年 3月 川崎医科大学卒業
- ◎2001(平成13)年 5月 川崎医科大学小児外科学 入局
- ◎2003(平成15)年 10月 川崎医科大学小児外科学 臨床助手
- ◎2004(平成16)年 4月 川崎医科大学小児科学 臨床助手
- ◎2013(平成25)年 4月 大阪母子医療センター研究所免疫部門 主任研究員
- ◎2014(平成26)年 6月 川崎医科大学総合内科学 臨床助教
- ◎2017(平成29)年 4月 金沢医科大学臨床感染症学 准教授
- ◎2019(令和1)年 9月 金沢医科大学氷見市民病院健康管理センター センター長・准教授

【資格及び関係学会等】

- ◎日本人間ドック学会 人間ドック健診情報管理指導士
- ◎日本内科学会 認定内科医
- ◎日本小児科学会 小児科専門医・小児科指導医
- ◎日本感染症学会 感染症専門医・感染症指導医
- ◎日本小児感染症学会 小児感染症暫定指導医
- ◎日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医
- ◎ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター (ICD)
- ◎日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医



診療コラム

退院後訪問く看護師による退院後の患者支援く

当院では2016年7月から、退院後も在宅で安心して療養していただくために、退院後に患者さんの自宅へ訪問する「退院後訪問」を年間約30件行っています。



入院中に多職種でカンファレンスを行い、退院後に訪問が必

要かを話し合うとともに、患者さんやご家族とも相談し、患者さんの了解のもと訪問日時を決めています。

訪問は患者さんが退院した日から1ヶ月以内に限り、5回までご利用いただけます。それ以降も途切れない支援へと繋ぐために、訪問看護師さんと同行する場合があります。看護師は入院中に退院後の在宅療養を想定しながらの退院支援を行っています。私たちが入院中の支援はこれでよかったのだろうか。「自宅での療養は大丈夫だろうか。どのような療養をされているのだろうか」と、これまでは退院後の患者さんの生活が気になり不安なこともありました。退院後訪問では、自宅での患者

さんの様子を実際にみて確認でき、看護師にとっても、その他の患者さんへの退院支援に役立っています。

これまで、腹膜透析中の患者さんや認知症の患者さんなど自宅での療養に不安を感じる患者さんへの訪問を行いました。患者さんだけでなくご家族からも訪問時に「看護師さんに診てもらい安心できた。」と喜んでいただけると、私たち自身も安心できるとともに嬉しくなります。また、自宅へ伺うことで「こんなに遠方から通院されていたのか」「家の前が坂道で歩くのも大変だろうな」など訪問しなければ分からないことも多々ありました。

看護師が退院後の患者さんの



自宅訪問を経験することは、病院内で行っている退院支援や退院調整の質を高める大切な看護につながります。これからも退院後訪問を行っていくことで、地域の患者さんが住み慣れた自宅で、その人らしさを大切に生活を続けられる手助けとなるよう努めてまいります。

2階図書コーナーのお知らせ

2階の図書コーナーは、外来の待ち時間や、入院中の患者さんの読書に利用していただいています。病院医療サービス向上委員会で、昨年11月に図書の見直しを図り、病院職員へ図書の寄贈を呼びかけて、これまでに厚意の本が100冊余り寄せられました。

内訳は、童話・児童書が45冊、小説・文庫本が50冊、漫画・趣味の本などが10冊です。寄贈された本には、背表紙に「病院図書コーナー」のシールを貼り本棚に配置いたしました。

来院される皆さんにこれからも利用していただけるよう、改善を重ねていきたいと考えています。



*図書 院内での貸し出し自由です。

*新聞 富山新聞を置いています。新聞は図書コーナー周辺でお読みください。

2階図書コーナー周辺が休憩コーナーとなっております。こちらもご利用ください。

●新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用停止のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止のため、4月15日(水)から、当面の間、図書コーナーの利用を停止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いたします。

第9回 在宅医療推進のための意見交換会

■日時 令和2年1月29日(水) 17時30分～18時30分

当院では、在宅医療を推進する取り組みの一環として、氷見市内の医療・福祉施設等の関係者の方々と情報共有及び連携強化を目的に毎年意見交換会を開催しています。今回は「腹膜透析を導入した患者の在宅管理について」をテーマに、院外からはケアマネージャーや看護師、薬剤師、行政関係者等が参加し、当院からは医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士等の多職種53名が参加しました。意見交換では患者さんが在宅で安心して暮らせるようそれぞれの立場から意見を出し合いました。また、この会を機に日頃の問題点なども話し合い、緊密な連携がとれる場としても活用しています。

参加者からは「多職種で意見交換することで入院時からケアマネージャーが介入しやすくなったたり、入院中からケアマネージャーと情報交換しやすくなり、退院に向けての支援や家族との面談などもスムーズに行える」や「この会を重ねるうちに良い関係が築かれて、「コミュニケーションがとりやすくなり患者支援がしやすい」との感想が数多く聞かれました。

今後はさらに氷見市内の多職種の関係機関との連携を密にしながら、患者さんが安心して在宅で暮らせるように体制を整えていきたいと考えています。



地域医療研修会

■日時 令和2年1月30日(木) 17時30分～18時30分

当院6階多目的ホールにおいて地域医療研修会を開催しました。

平成30年度より厚生労働省は、もしものときのために自らが望む医療やケアについて前もって考え、繰り返し周囲の信頼する人たちと話し合い、共有しておくことが重要であると「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング(ACP))」を普及・啓発(推奨)しています。に努めています。そのため氷見市においても、昨年度より氷見市医師会・氷見市で「いちごメモ」を作成し、市民の皆様へ啓蒙させて頂いています。

今回、一般社団法人 EGS 代表理事 くれよん在宅クリニック 院長 桶口史篤先生より「縁起でもない話をしよう！～大切なことをきちんと伝えておくために～」というテーマでご講演頂きました。当院職員や市内の医療・介護従事者89名が参加し、一人ひとりの価値観や最善は異なるため、「意思を確認し思いの共有を図ることが大切である」と再認識しました。誰もが迎える「ひとの最期」にどのように向き合い行動すべきか…いろいろな方々が集まり、語り合いながらともに考えをきっかけ「づくり」として県内各地でEGS Careが催されています。当院におきましても今年度より「EGS Care Emi」の開催を予定しております。一度しかない人生を自分らしく生き抜くために、一緒に考えてみませんか。多数の方のご参加をお待ちしております。



病院からのお知らせ掲示板

● 4月より放送スタート「きときと健康チャンネル」

4月から、能越ケーブルネット放送の氷見市広報番組「もつと知りたい・伝えたい氷見市政」において、「きときと健康チャンネル」と題した当院のコーナーがスタートします。

毎月、病気や健康に関する身近な話題をテーマに、当院の医師らが出演し、市民の皆様の健康に役立つ情報をお届けします。ぜひご覧ください。

ー5月 放送予定ー

テーマ 「新型コロナウイルス感染症防止対策の強化について」

ー金沢医科大学氷見市民病院からお願いー

放映 令和2年5月3日(日) ～5月9日(土)

1日3回(6時～、15時～、20時～)

【番組概要】

能越ケーブルネット放送「ひみチャンネル」

氷見市広報番組「もつと知りたい・伝えたい

氷見市政」番組内10分コーナー

※毎月第1週(日)～(土)1日3回

(6時～15時～20時)

● 開学記念日休診について

令和2年6月1日(月)は金沢医科大学開学記念日のため、外来診療を休診とさせていただきます。

なお、救急患者さんについては、救急外来にて受診ください。



● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う出入口の制限について

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、4月20日(月)から当面の間、診療日の日中において、病院の出入り口を正面玄関1か所に制限しております。

また、正面玄関の開放時間を短縮し、朝の開錠時間を45分遅らせ、午前7時45分へ変更しております。

ご不便をおかけしますが、感染防止対策のため、ご理解の程お願いいたします。

※詳細は、病院ホームページをご確認ください。

● 新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベント中止について

今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各イベントの開催については、市民の皆様の安全を考慮し、中止または無期延期といたします。

今後の予定につきましては、状況に応じて慎重に検討を進め、改めてご案内いたします。

皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

中止 看護の日イベント

・日時 令和2年5月11日(月)午前10時30分～正午

・場所 金沢医科大学氷見市民病院 1階外来ホール

中止 5月・6月糖尿病教室

・日時 令和2年5月12日(火)午前11時30分～午後1時

6月9日(火)午前11時30分～午後1時

・場所 金沢医科大学氷見市民病院 6階多目的ホール

無期延期 2020年度健康づくり教室

・日程 令和2年6月、7月、9月、10月、11月

第3または第4土曜 午前10時～11時30分

・場所 金沢医科大学氷見市民病院 6階多目的ホール

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報には厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

まちかど情報

おいだに

老谷の大つばき(氷見市)

「老谷の大つばき」が見ごろを迎えています。

老谷の大つばきは、石川県との県境にほど近い老谷地区の奥まった小高い丘に生育し、ヤブツバキでは日本最大の巨木といわれています。樹齢は推定500年以上であるとされているものの未だ成長を続けており、1965年に富山県の天然記念物に指定されました。

三本の幹に分かれ、さらに伸びた枝が複雑に絡み合う異様な形状から「さしまたのつばき」とも言われています。また、戦国時代に無実の罪に問われて落命した武士の残した妻と子にまつわる悲しい言い伝えが残されています。

3月中旬から4月下旬にかけて、あでやかな真紅の花を枝いっぱいにつけ全国に誇れる今が見ごろの老谷の大つばき。ぜひ春を感じに訪ねてみてください。



エコロジーガーデン ecology garden

当院では、院内緑化をすすめ、来院された患者さんやご家族の方々に安らいだ環境を提供できるよう努力しております。この院内緑化は、下記のスポンサー企業の協賛のもとに維持運営を行っております。



スポンサー企業

- 南アシア商会 ● サカ牛産業株式会社 ● たんぼ薬局氷見店 ● ニッショク株式会社 ● 日本海綿業株式会社
- ビー・エム・エル ● 氷見伏木信用金庫 ● ファーマライズ株式会社 ● 米沢電気工事株式会社
- 株式会社山下設計 ● 菱機工業株式会社

表紙について

桜の木の下で咲くタンポポです。

日に日に散り進む桜に物寂しさを感じていた時に、散る花びらを追って足元に視線をやると、地面に散った桜の中でタンポポが元気に咲いていました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの日常が一変し、不安で心が曇りがちな毎日ですが、変わらずに佇む自然の景色に触れると、気持ちがホッと和みます。

緊迫したニュースが飛び交う日々の中で、ほんのわずかも心安らぐ一瞬がお届けできれば幸いです。

編集後記

今年の冬は非常に暖かく雪もほとんど積もらない冬でした。そのため全国的に桜の開花も早まっています。しかし、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、いつもは花より団子の花見をしていましたが、今年は人混みを避け、遠くから桜の花を見ることになりそうです。東京オリンピックの延期をはじめ、色々なイベントも中止となっており、一日も早く新型コロナウイルスが終息に向かうことを願っています。

かけし春号編集委員 事務部 廣瀬 信雄

■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。